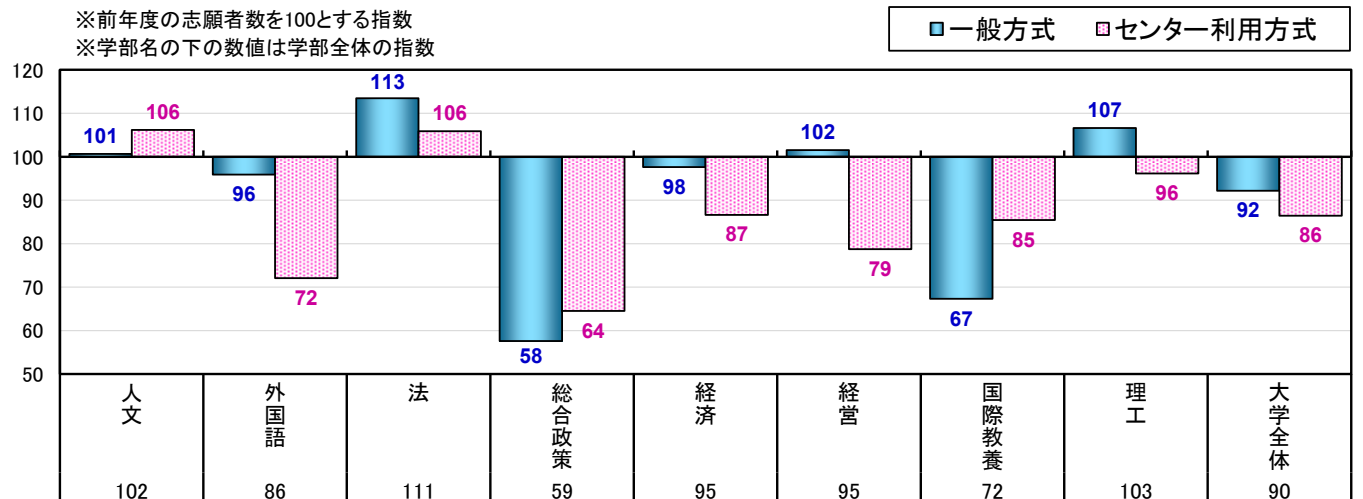


## 2020 年度入試状況分析【私立大】

**南山大：大学全体では3年連続減少、理工は3年連続増加 一般：-1,323人 センター：-1,060人**



**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、2,383人(90)の減少で3年連続減少。学部別では、総合政策(59)、国際教養(72)の大幅減少が目立った。理工(103)は系統への人気上昇でやや増加し、3年連続増加。

＜一般方式＞

- 外国語(96)は、系統への人気低下でやや減少し、2年ぶりに減少。学科別では、(アジア)(114)の増加、(英米)(85)の大幅減少が目立った。
- 法(113)は、系統への人気低下の中で3年ぶりに増加。
- 総合政策(58)は、系統への人気低下で大幅減少し、3年ぶりに減少。
- 経済(98)は、系統への人気低下で微減となり、2年連続減少。方式別では、3教科型の〈A方式〉(107)はやや増加、一方で、2教科型の〈B方式〉(71)は大幅減少。
- 経営(102)は、微増だが2年ぶりに増加。方式別では、3教科型の〈A方式〉(108)は増加、一方で、2教科型の〈B方式〉(79)は大幅減少。
- 国際教養(67)は、系統への人気低下で大幅減少。
- 理工(107)は、系統への人気上昇でやや増加し、3年連続増加。学科別では、(システム数理)(124)が大幅増加で3年連続増加し、(機械電子制御工)(109)は前年度大幅増加の反動はなく2年連続増加。一方で、(ソフトウェア工)(94)は2年連続大幅増加の反動でやや減少。

＜センター利用方式＞

- 人文(106)は、やや増加で6年ぶりに増加。学科別では、(人類文化)(126)が大幅増加、(心理人間)(113)は増加でいずれも6年ぶりに増加。一方で、(日本文化)(82)は3年連続大幅減少、(キリスト教)(88)は2年連続大幅減少の反動はなく、3年連続減少。
- 外国語(72)は、系統への人気低下で大幅減少し、5年連続減少。5学科全てが減少で、5年連続減少の(英米)(86)以外は大幅減少。(フランス)(53)、(ドイツ)(54)、(スペイン・ラテンアメリカ)(81)はいずれも2年連続大幅減少。
- 法(106)は、3年連続20%前後の大幅減少の反動でやや増加。
- 総合政策(64)は、系統への人気低下に加え、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願者数は過去5年間で最多の2016年度と比べると、半減以下。
- 経済(87)は、系統への人気低下で5年連続減少。
- 経営(79)は、大幅減少で前年度の反動による増減が継続。
- 国際教養(85)は、系統への人気低下で大幅減少し、3年連続減少。
- 理工(96)は、やや減少で3年連続減少。学科別では、(システム数理)(115)のみ大幅増加し、志願者数は5年ぶりに3学科中で最多となった。